

将来の日本サッカーを背負う少年サッカーの活動

2013年度の事業計画も順調に推移し残すところ2月となりました。藤沢市サッカー協会には少年、女子、中学、高校、社会人、審判の各委員会があります。この6委員会はそれぞれ年間事業を通して普及、育成、強化、健康増進、市民交流を行っています。今回は少年委員会の年間事業、活動状況についてご報告します。事業には主催、主管、派遣のそれぞれがあります。

4月～5月市少年選手権大会、6月～7月リーグ戦（前期）、10月～12月リーグ戦（後期）その他8月J.C杯（3日間）、9月市民総体、10月姉妹都市松本市定期交歓会（隔年相互訪問）、11月招待大会（県内、県外チーム招待）、1月スポーツ少年団交歓会、2月新人戦交流会と多くの事業を行っています。その他にも県内外からの招待大会召請には交流、強化を目的に選抜チーム等を派遣しております。これら市協会の事業の間に各チームは全日本少年サッカー大会県予選、県選手権大会予選会があります。このような事業の間に少年委員会は育成、強化を目的に5、6年生を対象にトレセン活動を行っています。トレセン活動は将来、県、地域、日本トレセンに選抜されるよう育成、強化しています。日本サッカーが常にワールドカップ、オリンピックの出場国になるためには少年サッカーの育成、強化の果たす役割は大きいです。大切なのは少年たちがたのしくサッカーができるよう大人が環境を作ることです。日頃から少年を見てご指導されている指導者のみなさんは大変でしょうが是非少年たちがたのしくサッカーをしていけるようにご指導よろしくお願いします。時には、ご父母、地域、のご協力が必要と思います。ご指導されています指導者みなさまのご尽力に感謝申し上げます。

是非、藤沢市内から全日本に選出されるようなプレーヤーをみなさんの力を出し合い育てましょう。